

2006 年度評議員会 議事録

日 時 2007 年（平成 19 年）3 月 15 日（木） 18 時 20 分～19 時 20 分

場 所 神戸ポートピアホテル（第 4 会場 大輪田 C）

〒650-0046 神戸市中央区港島中町 6-10-1

TEL : 078-302-1111（代表）

評議員現在数：220 名

出席評議員数：192 名（内 委任状出席 33 名）

その他出席者：名誉会員 8 名、特別会員 14 名

I. 議 事

第 1 号議案 2006 年度事業報告

2004・2005 年度会費未納による退会会員報告（追認）

第 2 号議案 2005 年度収支決算報告（追認）

第 3 号議案 2006 年度収支予算の修正

第 4 号議案 2007 年度事業報告及び収支予算承認

第 5 号議案 2008 年度就任評議員・正会員代表選挙

第 6 号議案 定款施行細則変更

第 7 号議案 2007 年度新評議員・新正会員代表の選任

第 8 号議案 新名誉会員・新特別会員の承認

第 9 号議案 循環器専門医制度について

第 10 号議案 委員会報告

第 11 号議案 第 72 回学術集会会長挨拶・73 回学術集会会長の承認

第 12 号議案 その他

II. 議事の経過及び結果

定刻になり、第 71 回横山光宏会長から評議員現在数及び出席評議員数を報告、定数を満たしたので会議の成立が確認され、定款第 26 条の定めにより横山会長が議長となり開会。資料にある 24 名の物故会員に対し、黙祷が捧げられた。

続いて議長から議事録署名人に山口徹・松崎益徳両理事を指名し了承され、議事に入った。

第 1 号議案 2006 年度事業報告

2004・2005 年度会費未納による退会会員報告（追認）

議長から、2006 年度における事業の概要について、資料のとおり報告があった。続いて、2004・

2005 年度会費が未納である会員 289 名について経過が説明され、これらの会員の退会について承認された。

第 2 号議案 2005 年度収支決算報告（追認）

議長より、資料 19～25 ページまでの一般会計、専門医特別会計、学術集会特別会計、支部特別会計及び地方会特別会計の 2005 年度会計について、昨年 6 月理事会にて承認され、会告にて会員へ通知している旨報告があり、追認された。

第 3 号議案 2006 年度収支予算の修正

議長より、当初予算に未計上であった事業収支の予算について、資料 26～32 ページの通り修正を行い、今年 1 月理事会承認された旨説明があり、追認された。

第 4 号議案 2007 年度事業報告及び収支予算承認

議長より、議案書 29～37 ページの 2007 年度事業計画及び今年 1 月理事会で承認された資料 36～41 ページの 2007 年度収支予算について説明があり、承認された。

第 5 号議案 2008 年度就任評議員・正会員代表選挙

議長より、2008 年度に就任する評議員・正会員代表の選挙が 2007 年度中に実施される旨報告があり、各支部における選挙への協力を依頼された。

第 6 号議案 定款施行細則変更

議長より、現職評議員の所属地区変更に伴う規約の制定および現在の実態にあわせるための定款施行細則の変更について資料の通り提案があり、承認された。

第 7 号議案 2007 年度新評議員・新正会員代表の選任

議長より、65 歳定年制により 2006 年度末で退任された評議員・正会員代表に替わって、新しく 2007 年度より就任する評議員と正会員代表が資料の通り報告され、承認された。

第 8 号議案 新名誉会員・新特別会員の承認

議長より、白土邦男先生を名誉会員として、神原啓文・北浦泰・久萬田俊明・高野照夫・松田暉・矢野捷介・山口巖各先生を特別会員として理事会が推薦している旨報告があり、承認された。なお、本年度は偶然特別会員が多く選出されることになったと付言があった。

第 9 号議案 循環器専門医制度について

土居委員長より下記の報告があった。

①「日本循環器学会認定循環器専門医制度規則」の第 3 章第 12 条 a-(3)の文言が、「研修カリキュラムに基づく研修が可能な指導体制・設備が整っていること」に変更された。また、第 3 章第 12

条 b-(3)に「また、自施設でも基本的な研修が可能な設備が整っていること」が追加された。

②「循環器専門医認定更新に関する規定及び所定単位表別表」について、「座長への単位付与制度の廃止・保留制度の廃止・65歳以上の取得単位提出免除制度の廃止・別表ⅣとⅥの削除・追加」の変更により各々文言が変更された。

③2006年8月27日に実施された第17回（2006年度）循環器専門医資格認定審査筆記試験の合格者573名を循環器専門医として認定する。

以上について承認された。

第10号議案 委員会報告

次の5委員会について、議長より委員会報告が行われた。その他の委員会報告に関しては、資料に掲載されているので見ていただくよう、議長から説明があった。

1) 心肺蘇生法委員会

笠貫委員長より下記の報告があった。

- ①心肺蘇生法普及委員会の名称を、普及だけではなく科学的活動も行うという理由から、心肺蘇生法委員会と変更した。
- ②AHAとJCS-ITC(International Training Center)の契約を行い、学術集會会期中に第1回 ACLS プロバイダーコースと ACLS インストラクターコースを開催している。
- ③専門医試験受験者への ACLS 必修化を進めたい。
- ④日本のエビデンスを日本蘇生協議会を通して、アジア蘇生協議会、世界蘇生協議会に発信したい。
- ⑤日本の循環器に関する救急医療の行政面についても取り組んでいきたい。

2) 国際交流委員会

小川委員長より下記の報告があった。

- ①第5回国際留学生 YIA を今年度も表彰・授与する。
- ②国際名誉会員として Dr. Spencer B. King III, Dr. Jay N. Cohn, Dr. Kim Fox の3名に授与する。
- ③AHA2007にて、AHA-JCS Joint Symposium を開催する。
- ④2006年1月から APSC 事務局を JCS 事務局内に設置して、事務局業務を開始している。
- ⑤APCC2009は北島頭会長で京都で開催する。
- ⑥ヨーロッパ心臓病学会に Affiliate National Society として参加する予定である。
- ⑦松森幹事が WHF の Secretary General 及び WCC プログラム委員に就任している。また、WCC を 2012年もしくは2014年に日本で開催できるよう招致活動を進めている。

3) 編集委員会

松崎委員長より下記の報告があった。

- ①2007年1月よりオンラインによる投稿・審査システムを導入したことにより、投稿数が急激に増加、現在のところ年間1,000編を越す勢いである。

②2005年のImpact Factorは、1.998であり、2006年は更にポイントが上がる事が期待されるが、そのためにも欧文誌に投稿される際には、是非ともCirculation Journalからの引用をお願いしたい。

③Impact Factorと掲載論文のqualityを上げるために、基礎研究の論文の投稿をお願いしたい。

④1号当りの頁数増加の問題等もあり、採択率を40%前後に保ちたいと考えている。

4) 学術委員会

堀委員長より下記の報告があった。

①現在までに策定した33のガイドラインについて会員限定で公開していたガイドラインの一般公開を行う。一般市民に関連の深い4つのガイドラインについては、日本医療機能評価機構の医療情報サービスサイトMINDSに公開いただくよう作業を進めている。

②循環器疾患診療実態調査（主査：土居義典先生）について、2004年実態調査（2004年1月～12月）の集計が冊子としてまとまった。日本循環器学会ホームページに公開し、調査依頼を呼びかけた全国約4000施設にその冊子の配布を行う。今後もこの調査を継続的に行い、日本循環器学会の主活動の1つにしたい。

③厚労省からの依頼により、「心室頻拍(Torsades de Pointesを含む)」と「うっ血性心不全」の2つの項目について重症副作用疾患対応マニュアルを3月末を目途に作成を進めている。

5) 総務委員会

山口委員長から以下の点について報告があった。

①現在日循の会員の約1割が外科系の会員であるが、それに見合うだけの評議員・理事が選出されていない状態である。そのため、内科系以外の会員の意見反映や代表選出のために、下記の通り評議員・理事の選出方法を見直したい。

1)学会評議員（全国評議員）を現行の200名から250名まで増員し、そのうちの2割である50名を推薦評議員に充てる。

2)各支部からは、推薦評議員も含めて、支部評議員の1割以上を外科系の会員とする。

3)各支部評議員の5分以上を、内科系・外科系以外の分野の会員とする。

4)理事について、定員（20名）の1割である2名を外科系枠とし、東日本地区・西日本地区から一名ずつ選出する。残りの18名は、従来どおりの選出とする。

5)本ルールは2008年の選挙より実施する。なお今後新しい公益法人制度に移行した場合には、理事の増員などを含めて見直すものとする。

以上の委員会報告および資料に掲載されている他の委員会報告について、一括して承認された。

第11号議案 第72回学術集会会長挨拶・73回学術集会会長の承認

1) 第72回学術集会報告

松崎益徳会長より下記の報告があった。

会期は 2008 年 3 月 28 日（金）～30 日（日）とし、福岡国際会議場を中心に開催する。

2) 第 73 回学術集会報告

第 73 回学術集会会長として堀正二先生（大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学）が承認された。会期を 2009 年 3 月 20 日（金）～22 日（土）とし、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルを中心に開催することが報告された。

第 12 号議案 その他

その他、特に議題の提起はなかった。

以上をもって本日の議事を終了し、議長が長時間の協力に謝辞を述べて閉会した。

上記の議事の経過及び結果を明らかにするため、この議事録を作成し議長ならびに議事録署名人、これに署名押印する。

2007 年 3 月 15 日

社団法人 日本循環器学会 2006 年度評議員会

議 長

議事録署名人

同

(以下余白)